平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年2月7日

上場会社名 日本開閉器工業株式会社　　上場取引所　東
コード番号 6943　URL http://www.nikkai.co.jp
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 大橋 智成
問合せ先責任者　(役職名) 常務取締役　(氏名) 市川 忠夫　TEL 044-813-8026

四半期報告書提出予定日　平成26年2月14日　配当支払開始予定日　未定
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	5,432	2.8	448	2.6	561	22.8	373	12.4
25年3月期第3四半期	5,283	△2.2	436	14.3	457	26.8	332	9.5

(注)包括利益　26年3月期第3四半期　613百万円　(59.8%)　25年3月期第3四半期　383百万円　(72.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	45.36	―
25年3月期第3四半期	40.33	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第3四半期	13,059	10,868	83.2	1,320.03
25年3月期	12,761	10,355	81.1	1,257.40

(参考)自己資本　26年3月期第3四半期　10,868百万円　25年3月期　10,355百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	―	5.00	―	7.00	12.00
26年3月期	―	5.00	―		
26年3月期(予想)				5.00	10.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成26年 3月期の連結業績予想(平成25年 4月 1日～平成26年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,100	12.5	540	△15.0	600	△14.2	360	△28.5	43.71

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ―社 (社名) 、 除外 ―社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
②①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期3Q	8,425,200 株	25年3月期	8,425,200 株
② 期末自己株式数	26年3月期3Q	191,667 株	25年3月期	189,509 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期3Q	8,234,429 株	25年3月期3Q	8,236,936 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続きが実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載しております業務見通し等の将来に関する記述につきましては、当社グループが本資料の発表日現在にて入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提条件に基づいて作成しております。実際の業績等は、今後の経済情勢や市場動向等に関わるリスク不確定要因により変動する可能性があります。また、業績予想の背景や前提条件等の詳細につきましては、「添付資料」の2ページ「連結経営成績に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 3
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．サマリー情報（注記事項）に関する事項 …… 3
３．四半期連結財務諸表 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書
第３四半期連結累計期間 …… 6
四半期連結包括利益計算書
第３四半期連結累計期間 …… 7
（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 8
（継続企業の前提に関する注記） …… 8
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 8

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当第３四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、政府主導による各種経済政策や金融政策への期待感から、円高是正や株価の上昇による企業収益の向上や個人消費に回復の兆しが現れるなど、日本経済には明るい兆しが見え始めております。しかしながら海外においては、欧州経済の底打ちや米国経済の堅調維持という好材料があるものの、新興国経済の下振れや日中、日韓関係の悪化等の不安定要素もあり、先行き不透明な状況であります。

当社の属する産業用スイッチ（操作用スイッチ）市場におきましては、９月迄の出荷額累計が前年比99.4％だったものの、12月迄の出荷額累計では103.4％と秋口あたりから回復傾向にあり、平成25年12月発表の企業短期経済観測調査（日本銀行短観）にも見られるように、収益回復を背景に投資意欲の改善が表れる結果となっています。

こうした中、３ヵ年の中期経営計画「Quantum Leap Breakthrough」では「世界一の産業用スイッチメーカー」となるべく「北米市場シェアアップ」をビジョンに掲げ、販売体制を過去からのローカルディストリビューターをベースにグローバルディストリビューター(以下GD)・カタログディストリビューター(以下CD)へと販売網の拡大を図る中で、グローバル化やボーダーレス化の社会に順応してまいりました。近年ではGDとの更なる関係強化を図ることはもとより、新規顧客の獲得とデザインエンジニアリングレベルで新規デザインへのNKK製品採用を増加させるためCDとの関係強化を推進し、2013年４月末には北米における大手CDとグローバル販売契約を締結しました。一方、ものづくりメーカーとしてその継続を磐石なものとするために、開発力・技術力はもとより品質力の向上に努め、お客様の信頼を裏切ることのないように努力しております。

そのような中、当第３四半期連結累計期間の売上高は54億３千２百万円（前年同期比2.8％増）、営業利益は４億４千８百万円（前年同期比2.6％増）、経常利益は５億６千１百万円（前年同期比22.8％増）、四半期純利益は３億７千３百万円（前年同期比12.4％増）となりました。

当社は「競争力強化」と「体質強化」に尽力していくことを基本姿勢とし、今後ともメーカーとしての役割である「ものづくり」をNKKグループ一丸となって推進してまいります。

なお、セグメントの概況は次の通りであります。

①　日本

日本国内は、「アベノミクス」による景気上昇への期待感はあるものの、原材料の高騰や消費税増税に対する不安感など、先行きの見方が慎重になっている部分もあります。

販売強化項目の拡販を積極的に取り組み、足で稼ぐ営業を強化してまいりましたが、当第３四半期連結累計期間の売上高は40億６千２百万円（前年同期比4.8％減）となりました。引き続き足で稼ぐ営業を実践していくことで、まだ入り込めていない既存市場に加え、これから急成長を遂げるであろう新興市場の開拓を行ってまいります。

②　米国

中期経営計画「Quantum Leap Breakthrough」のビジョンである「北米市場シェアアップ」について販売強化項目に注力した販売活動を積極的に行いましたが、現地通貨ベースでは前年同期比2.2%減となりました。しかし為替の影響により、当第３四半期連結累計期間の売上高は16億８千８百万円（前年同期比21.5％増）となりました。

③　アジア

当社は中国市場を日本、北米に続く第三の市場と位置づけております。中国経済の成長率が鈍化している影響もあり、現地通貨ベースでは前年同期比20.7％減となりました。しかし為替の影響により、当第３四半期連結累計期間の売上高は、14億４千５百万円(前年同期比1.2％減)となりました。

（２）財政状態に関する説明

①　資産

資産合計は130億５千９百万円（前連結会計年度末比２億９千８百万円の増加）となりました。

主な要因は、商品及び製品の増加（前連結会計年度末比２億５千２百万円の増加）によるものであります。

②　負債

負債合計は21億９千１百万円（前連結会計年度末比２億１千４百万円の減少）となりました。

主な要因は、支払手形及び買掛金の減少（前連結会計年度末比８千３百万円の減少）、未払法人税等の減少（前連結会計年度末比６千８百万円の減少）、引当金の減少（前連結会計年度末比７千万円の減少）によるものであります。

③　純資産

純資産合計は108億６千８百万円（前連結会計年度末比５億１千２百万円の増加）となりました。

主な要因は、四半期純利益の計上等による利益剰余金の増加（前連結会計年度末比２億７千４百万円の増加）、為替換算調整勘定の増加（前連結会計年度末比１億５千６百万円の増加）、その他有価証券評価差額金の増加（前連結会計年度末比８千２百万円の増加）によるものであります。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成25年５月17日付にて公表した連結業績予想につきましては変更しておりません。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

該当事項はありません。

３．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成25年３月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成25年12月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,826,020	5,795,947
受取手形及び売掛金	1,361,974	1,352,587
商品及び製品	769,001	1,021,950
仕掛品	130,072	113,968
原材料及び貯蔵品	1,190,092	1,282,885
繰延税金資産	115,320	100,571
その他	98,429	82,981
貸倒引当金	△2,464	△2,641
流動資産合計	9,488,445	9,748,252
固定資産		
有形固定資産	1,426,599	1,393,492
無形固定資産	661,160	606,848
投資その他の資産	1,185,194	1,311,329
固定資産合計	3,272,953	3,311,670
資産合計	12,761,399	13,059,923
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,223,469	1,140,215
未払法人税等	104,184	35,592
引当金	124,500	53,861
その他	478,365	440,694
流動負債合計	1,930,519	1,670,363
固定負債		
繰延税金負債	75,522	117,476
役員退職慰労引当金	162,200	172,450
退職給付引当金	122,127	114,717
その他	115,450	116,379
固定負債合計	475,300	521,023
負債合計	2,405,820	2,191,387

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成25年３月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成25年12月31日）
純資産の部		
株主資本		
資本金	951,799	951,799
資本剰余金	833,305	833,305
利益剰余金	8,799,736	9,074,398
自己株式	△158,227	△159,464
株主資本合計	10,426,614	10,700,039
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	162,844	245,590
為替換算調整勘定	△233,879	△77,093
その他の包括利益累計額合計	△71,034	168,496
純資産合計	10,355,579	10,868,536
負債純資産合計	12,761,399	13,059,923

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第３四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成25年４月１日 至　平成25年12月31日）
売上高	5,283,782	5,432,845
売上原価	3,202,159	3,171,784
売上総利益	2,081,622	2,261,061
販売費及び一般管理費	1,644,961	1,813,033
営業利益	436,661	448,027
営業外収益		
受取配当金	16,706	18,811
為替差益	5,643	97,446
受取賃貸料	7,007	6,860
その他	7,662	9,111
営業外収益合計	37,020	132,229
営業外費用		
支払利息	1,070	992
売上割引	11,683	13,497
賃貸収入原価	3,490	3,772
その他	338	582
営業外費用合計	16,582	18,844
経常利益	457,099	561,412
特別損失		
固定資産除却損	449	6,843
特別損失合計	449	6,843
税金等調整前四半期純利益	456,649	554,569
法人税、住民税及び事業税	74,175	167,123
法人税等調整額	50,318	13,962
法人税等合計	124,493	181,085
少数株主損益調整前四半期純利益	332,156	373,483
少数株主利益	－	－
四半期純利益	332,156	373,483

（四半期連結包括利益計算書）
（第３四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成25年４月１日 至　平成25年12月31日）
少数株主損益調整前四半期純利益	332,156	373,483
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,650	82,745
為替換算調整勘定	53,149	156,786
その他の包括利益合計	51,499	239,531
四半期包括利益	383,655	613,015
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	383,655	613,015
少数株主に係る四半期包括利益	―	―

（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。